

各種申込・お問い合わせ先

大会・懇親会参加，研究発表については，上に示す要領で，原則として大会 HP および電子メールでお申し込みください。それぞれの申込先アドレスと担当者は以下のようになります。

大会参加・懇親会申込 E-mail: participation@kochugakkai.sakura.ne.jp (長谷川道明・奥田好秀・栗原隆)

研究発表申込 E-mail: presentation@kochugakkai.sakura.ne.jp (金子直樹・瑤寺裕)

その他ご質問等については下記の担当者へご連絡ください。

会場・公開シンポジウム関係：栗原隆 E-mail: kuriharat03@pref.tochigi.lg.jp

分科会・懇親会関係：岸本年郎 E-mail: tetrabothrus@gmail.com

会費（大会参加費・年会費）関係：長谷川道明 E-mail: hasegawa-michi@msi.biglobe.ne.jp

大阪年末例会開催のお知らせ

2018年度第3回大阪例会を下記の通り開催いたします。皆様，多数ご参加ください。

日時：2018年12月8日（土）10時～16時40分

場所：大阪市立自然史博物館（大阪市東住吉区長居公園1-23）Tel. 06-6697-6221

HP: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/> 通用門よりお入り下さい。

プログラム：	10:00～12:00	自由懇談・同定会，大阪例会運営幹事会
	12:00～13:00	昼食，休憩
	13:00～13:30	会務報告会・例会事務連絡
	13:30～15:30	講演
	15:40～16:40	「一人一話」会
	17:30～19:30	懇親会（場所：アサヒビアケラー・アベノを予定） 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-36 Tel. 06-6641-6282

定期購読のご案内

昆虫用品は むし社

検索

月刊むし

B5判，56～80頁 毎月20日発売
定価1260円（送料100円）

「月刊むし」は，1971年3月に創刊された昆虫専門の月刊雑誌で，30年以上続いて発行されています。過去のバックナンバーの内容はむし社HPをご覧ください。
<http://homepage2.nifty.com/mushi-sha/>

569号（2018年8月号）
ゼフィルス特集号

●沖縄島で得られた日本未記録のムネアカナガミドリサルハムシ

568号（2018年7月号）

●中国産セダカオサムシ類の新種，新亜種
●カタゾウムシ類をめぐる色と斑紋パターンの収斂に関する覚書 補遺 (1)
●インド北東部で得られたミヤマクワガタ属の1新種

「月刊むし」定期予約購読

本誌は一般書店での販売のほか，定期予約購読も行っております。定期予約の場合，送料は無料で，次のように誌代も割引となりますので，ぜひご利用下さい。

6ヶ月予約 定価 7560円 → 7300円
12ヶ月予約 定価 15120円 → 14600円
24ヶ月予約 定価 30240円 → 29200円

お申し込み方法

郵便振替用紙に「月刊むし予約」と明記のうえ，下記の口座あてにご送金ください。
郵便振替口座 00160-5-159262 むし社
新規お申し込みは，当月発売分よりとさせていただきます。

月刊むし・昆虫図説シリーズ9
日本のセンチコガネ
とその仲間

謎の多いセンチコガネとその仲間
9種の魅力を満載した1冊！
美麗な標本の他に，センチコガネの糞の運搬シーンなどの貴重な生態シーンを多数の写真で紹介。

著者：塚本圭一・稲垣政志・河原正和・森 正人
A4判118頁（48カラー頁）
定価6,912円 [税込・送料サービス]

むし社

〒164-0001 東京都中野区中野 2-23-1-209 Tel. 03-3383-1461~1462 Fax. 03-3383-1467

懇親会会費：5,000 円（飲み放題）

講演：「日本産ツツキノコムシの寄主利用」

演者：小林卓也氏（京都大学大学院 理学研究科 動物生態学研究室）

要旨：ツツキノコムシ科は体長1~6 mmの微小な甲虫であり、全世界から約700種が記載されている。ほとんどの種がカワラタケやサルノコシカケのような多孔菌類を寄主としており、グループごとに利用する寄主がある程度決まっている。本講演では日本産ツツキノコムシ類の紹介に加え、最近明らかになった近縁種間での利用寄主の違いや系統関係から推定される寄主利用の進化パターンについて紹介する。

例会・懇親会の事前の参加申し込みは不要です。当日、例会参加者はお茶代・資料代として200円を徴収いたします。懇親会は当日受け付けます。

また、秋季例会の運営幹事会で協議いたしますが、山本勝也氏によるヤマトオサムシダマシについてのご講演が入るかもしれません。詳細が決まり次第、HP上でお知らせいたしますので、聴講をご希望の方はHPをご確認ください。

（大阪例会運営幹事 澤田義弘 E-mail: sawada-f@gol.com）

東京例会開催のお知らせ

2018年第3回例会を下記の通り開催致します。奮ってご参加ください。

日時 12月22日（土曜日） 10:00～16:30
場所 国立科学博物館附属自然教育園講義室
 （正門を右へ進んで右手の建物）

〔交通〕 JR山手線「目黒」駅東口より目黒通り徒歩7分。

または、東京メトロ南北線/都営三田線「白金台」駅
 出口1より目黒通り徒歩4分。



当日の企画

1 談話会：10:00～13:00

自由な歓談の時間として会場を開放いたします。ミニ同定会や蘇虫会（自分にはさほど必要ない虫を必要とされる方に譲る会）など、内容には特に制約がありませんので、お気軽にご参加ください。

2 話題提供：13:00～15:00

梶村 恒：「キクイムシー菌類との関係を深めてきた甲虫ー」

キクイムシは、ゾウムシ科として取り扱われ、キクイムシ亜科（Scolytinae）とナガキクイムシ亜科（Platypodinae）に属しています。世界で7千、日本で3百をゆうに超える種数が記録されています。しかし、愛好家はかなり少ないものと思われます。ほとんどが体長数mmと微小で、体色も黒～茶と、まさにゴマ粒に等しいためです。必然的に、その生態もあまり知られていない、あるいは特定の種類の情報が一般化されているかもしれません。本講演では、キクイムシがいかに多様で興味深い甲虫であるかを、お話しいたします。具体的には、その食性、配偶様式、繁殖戦略を中心に紹介し、共生菌との相互作用についても実証例を提示していただきます。

3 一人一話：15:00～16:30

4 忘年会：当日の17時00分頃より、予定しております（会場未定）。事前にお申し込みください。申し込まれた方には、後日、会場案内等をお知らせします。

（東京例会運営幹事 高橋和弘 〒259-1217 平塚市長持 239-11 E-mail: kazu5@mg.scn-net.ne.jp）